

患者さんへの情報公開文書

「ホップス
HOPS症例をコホートとした局所進行・切除不能膵がんの観察研究
ホップス ユーアール
(HOPS-UR)」についてのご説明

● はじめに

局所進行膵がんは、切除可能性により切除可能、切除境界、切除不能アンリセクタブル (unresectable)と分類され、なかでも局所進行切除不能膵がん(UR 膵がん)は、転移がないものの、主要血管への浸潤があることから進行度が高く、根治切除が通常は不能、もしくは腫瘍遺残を伴う切除となる可能性が高く、予後は極めて不良とされています。膵がん全体の30%が切除不能・URとして発見され、2010年以降の研究を参照すると、それらの生存期間中央値は5.9-16.0カ月と報告されています。

● 研究目的

局所進行切除不能膵がん(UR 膵がん)に対する放射線化学療法および化学療法の効果の検証を行います。

● 研究代表者：

札幌医科大学附属病院 消化器・総合、乳腺・内分泌外科 木村 康利

● 研究対象：

北海道大学病院消化器外科Ⅱあるいは消化器内科に通院または入院された、画像評価にて切除不能・UR 膵がんと判定された20歳以上の患者さんを対象とします。

● 研究期間；病院長承認日～平成29年5月31日

● 症例数；研究全体で67例（当院では15例）

● 研究内容と患者負担

各患者さんの電子カルテ上のデータを収集し調査いたします。得られたデータは、下記のデータセンターに集約され、解析されます。全てのデータに対し、匿名化処理を行ないますので、被験者の方の個人情報は完全に保護されます。

研究の被験者となることを希望なさらない場合、お申し出いただければ、ただちに研究対象から除外いたします。患者さんの日常診療以外の余分な負担や経費は生じません。

この研究にご質問のある方は、下記の連絡先までお申し出ください。

問い合わせ先

札幌市北区北15条西7丁目 北海道大学消化器外科学Ⅱ

TEL:011-706-7714

事務局代表者：中村 透